

おもいやりのある子

かんがえる子

ぎきに行動する子

きたえる子



出 会 い ・ ふ れ あ い ・ 学 び あ い

学校だより 3月号

平成29年3月1日

和歌山市立岡崎小学校 府中 恵理

一日、一日を大切に卒業まで

この学校で、この校舎で、仲間と共に過ごす日も、6年生にとって残り少なくなり、21日には岡崎の学舎を巣立っていきます。

6年生の保護者のみなさん、お子様のご卒業を心からお慶び申し上げます。保護者の方々におかれましても、これまでの6年間の歩みをふり返ると、数々の思い出がよみがえってくることでございましょう。お子様が立派に成長したのも、いつでもそばで我が子を見守り支えて来られたからこそで、この喜びは何よりのことと思われまします。私たちといたしましても、学校と連携し常に教育に対してご理解・ご協力をくださったおかげで、共に育てることができたことを大変嬉しく感謝しております。本当にありがとうございました。



また、この卒業を迎える今、忘れてはならないことがもう一つあります。雨が降る日も風が吹く日も、毎日、毎日子どもたちの登下校を見守り、声をかけ、励まし続けてくださった、「岡崎地区子どもを守る会」のおっちゃんやおばちゃんをはじめ、地域の方々がおられたことです。どれほど大きな支えとなっていたことか、私たちは決して忘れてはならないことだと思ひます。「岡崎地区子どもを守る会」のおっちゃん、おばちゃん、地域の皆様方、本当にありがとうございました。

2月24日（金）1・2限には、「卒業を祝う集会」を開催しました。在校生の1年生から5年生までのそれぞれの学年から、お世話になったお兄さんやお姉さんに歌や合奏、言葉などを贈り、感謝の気持ちを届けることができました。今、羽ばたこうとしている6年生はもちろん、子どもたちはきらきらと輝いてとても素敵でした。

卒業までの残された小学校生活の一日一日を、また、在校生のみなさんは、この一年のまとめの日々を大切に、精一杯、楽しく過ごしてほしく思っています。

保護者の皆様方、どうぞ今後も、それぞれがより強く堅く繋がり、岡崎の子どもたちを素敵に育てられるよう、ご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

巣立ちゆく6年生へ

4月からは新しい道を一步、一步、焦らず、自分のペースでしっかりと歩いてください。今、私たちは贈ります。

「ご卒業おめでとう。そして、たくさんの思い出をありがとう。新しいステージで自分をもっと、もっと素敵に輝かせてください。」



3月の行事予定

1	水	登校指導 通学路セーフティネットの日 安全点検 防犯ブザー点検 いじめなくそうデー 委員会最終	17	金	卒業式準備(1~4・6年:1時半、5年:3時半下校) スクールカウンセラー(田端 T.)来校
2	木	団七踊り体験(3年) 2年2組授業参観 下校指導 PTA 運営委員会	18	土	
3	金	お別れ遠足(6年)	19	日	
4	土	土曜教室(最終) 茶道教室	20	月	春分の日
5	日		21	火	お別れ式8:45~ 卒業式9:30~
6	月	給食費引き落とし 市P役員幹事会	22	水	
7	火	スクールカウンセラー(田端 T.)来校	23	木	給食終了
8	水	東中学校卒業式	24	金	3学期終業式
9	木	PTA 6部代表者会	25	土	
10	金	奉仕作業(6年)	26	日	
11	土		27	月	学年末休業始まり
12	日		28	火	
13	月		29	水	
14	火		30	木	
15	水	登校指導	31	金	離任式9:00~
16	木	草抜き清掃			

学校保健安全委員会を開催しました(2月2日)

ご報告

本校の学校歯科医、岩橋 慎也先生をお迎えし、「むし歯予防と学童期の歯並びについて」をテーマにわかりやすく丁寧に教えていただきました。むし歯予防で一番大切なことは、やはり丁寧な歯磨きだそうです。子どもは十分に歯磨きができません。そこで、毎日の親の関わりがむし歯予防に大きな効果を発揮します。中学年ぐらいまでは、子どもの歯磨きチェックが必要だと教えてくださいました。今からでも遅くないそうです。今夜から、早速、お子さまの歯磨きチェック再開しましょう。勿論、大人の私たちも、時間をかけて丁寧に歯磨きし、健康な歯を保ちたいものです。

学校関係者評価委員会を開催しました(2月14日)

今年度の学校運営と関わって、評価委員の方々に1年間の本校の取組について評価していただきました。保護者アンケートや委員会でもいただきましたご意見を十分に踏まえ、今後も一層、取組を進めて参りたいと思いますので、変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。なお、自己評価等につきましては、3月中旬にホームページで報告の予定です。

子どもたちは確かに育っています~毎日、歩いて登校する中で~

自分の足で歩いて登下校することは、子どもの心と体を鍛えることに繋がると考えています。先日、1年生女子児童が登校途中に水路に落ちてしまった時、そばについて見守る子どもと学校へ知らせる高学年の子どもとの連携する姿がそこにありました。数日後また、1年生女子児童が躓いて額を負傷してしまった時に、連携して学校へ知らせるとともにお世話をしてくれたのも高学年の子どもたちでした。一緒に歩いて登校する中で、子どもたちは確実に育っています。何よりも仲間を思い、優しく接する心温まる高学年の子どもたちの成長を喜んでいます。

